

社会資本総合整備計画															事後評価書					令和08年03月02日							
計画の名称		地域住宅計画（いわき地域第5期）																									
計画の期間		令和02年度 ～ 令和06年度（5年間）														重点配分対象の該当											
交付対象		いわき市																									
計画の目標		・安全・快適で誰もが安心して暮らせる住まいづくり・住環境づくりを推進する																									
		・活力ある良質な住宅市場の形成を推進する																									
全体事業費（百万円）		合計（A+B+C+D）		664		A		618		B		0		C		46		D		0		効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		6.92		%	

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R2当初)		(R6末)
1	市営住宅における入居者の居住性向上及び設備等の長寿命化を図る			
	市営住宅における給水設備改修状況をもとに算出する。 （給水設備改修率：％）＝（平成元年度以降に新築または改修した中層及び高層の住棟数）／（中層及び高層の全住棟数）	63％	％	90％
2	良質な住宅ストックの形成を促進する			
	高齢者の居住する民間住宅におけるバリアフリー化の状況をもとに算出する。（※住宅・土地統計調査による） （バリアフリー化率：％）＝（一定のバリアフリー化がなされた専用住宅数）／（専用住宅数）	48％	％	75％

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																					
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
		一体的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	いわき市	直接	いわき市	－	－	公営住宅ストック総合改善事業（居住性向上・長寿命化）	給水設備改修	いわき市	■	■	■	■	■	471	－	策定済		
	A15-002	住宅	一般	いわき市	直接	いわき市	－	－	公的賃貸住宅家賃低廉化事業（高優賃）	家賃補助	いわき市	■	■	■	■	■	84	－	－		
	A15-003	住宅	一般	いわき市	直接	いわき市	－	－	改良住宅ストック総合改善事業（居住性向上・長寿命化）	給水設備改修	いわき市	■						23	－	策定済	
	A15-004	住宅	一般	いわき市	間接	個人	－	－	地域住宅政策推進事業（リフォーム助成事業）	民間住宅リフォーム助成	いわき市	■	■	■	■	■		40	－	－	
												小計							618		
												合計							618		

C 効果促進事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
地域住宅計画に基づ く事業	C15-001	住宅	一般	いわき市	直接	いわき市	－	－	公営住宅等関連事業	給水設備改修設計委託	いわき市		■	■	■	■	46	－	－	
		公営住宅ストック総合改善事業と一体となって改修に伴う設計（給水方式の変更等）を行うことで、入居者の居住性の向上が図られる。																		
												小計						46		
											合計						46			

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
いわき市において計画期間の実施状況について調査及び集計し確定	令和7年12月
	公表の方法
	いわき市のホームページに掲載
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・市営住宅の給水設備改修工事を実施し、給水管の長寿命化が図られ、入居者の居住性が向上した。 ・高齢者の居住する民間住宅のバリアフリー化については、所有者の費用負担が大きいことから目標を達成することはできなかったが、指標の要素となる専用住宅数（約4300戸増）及び一定のバリアフリー化がなされた専用住宅（約1600戸増）が増加しており、良質な住宅ストックの形成が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
・市営住宅の修繕・改善については、「いわき市公営住宅等長寿命化計画」に基づき推進し、引き続き入居者の居住性向上及び設備等の長寿命化を図っていく。 ・高齢者の居住する民間住宅については、今後も居住者の高齢化等にともない、バリアフリー化の推進がさらに重要となることから、市内施工業者が行う個人リフォーム等への補助事業に積極的に取り組む。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	市営住宅における給水設備改修率の向上		
	最 終 目標値	90%	資材の高騰などによる事業費の増に伴う予算の確保が困難であり、一部の事業を留保したこと
	最 終 実績値	75%	
2	高齢者の居住する民間住宅のバリアフリー化の向上		
	最 終 目標値	75%	住宅の所有者の費用負担が大きいこと等
	最 終 実績値	47%	